

土浦市の家計簿

平成21年度の決算概要および22年度9月末現在の予算の収支状況をお知らせします。

※決算の概要は、市ホームページでもご覧になれます。

固財政課（☎826・1111 内線2451）

□平成21年度各会計の決算状況

一般会計と特別会計（水道事業会計を除く）を合わせた歳入決算総額は、821億1436万円、前年度と比較すると1億8303万円、0.2%の増となり、歳出決算総額は、807億9695万円で、1億3666万円、0.2%の増となりました。

歳入歳出差し引き額は、13億1741万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源4億2674万円を差し引いた実質収支額は、8億9067万円となりました。

●各会計の決算

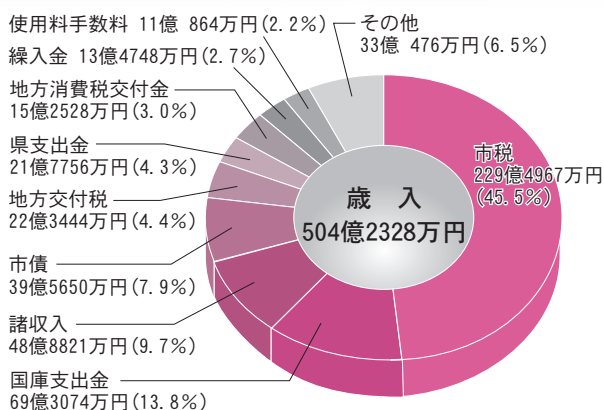
会計名	歳入	うち一般会計繰入金	歳出
一般会計	504億2328万円	—	491億5876万円
特別会計			
公共用地先行取得事業	26億4548万円	9億2018万円	26億4548万円
駐車場事業	2億4339万円	1億1048万円	2億4305万円
国民健康保険	144億9041万円	9億9930万円	144億8407万円
老人保健	3417万円	—	3249万円
後期高齢者医療	11億1850万円	1億9966万円	11億1343万円
介護保険	69億5420万円	10億8850万円	69億3853万円
下水道事業	56億2996万円	21億8400万円	56億825万円
公設地方卸売市場事業	4億4660万円	2億2782万円	4億4476万円
農業集落排水事業	1億415万円	4000万円	1億395万円
土浦駅前北地区市街地再開発事業	2422万円	390万円	2418万円
計	821億1436万円	57億7384万円	807億9695万円

●企業会計（水道事業会計）の決算

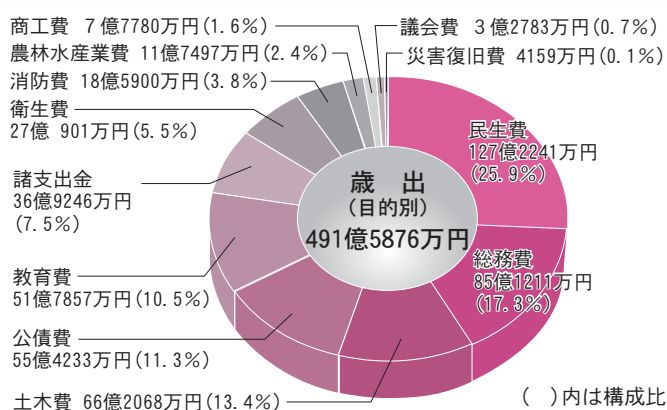
区分	予算現額	決算額	執行率
収益的収支			
収入	36億4120万円	36億479万円	99.0%
支出	33億5735万円	32億1641万円	95.8%
資本的収支			
収入	12億7732万円	11億9917万円	93.9%
支出	26億6951万円	24億568万円	90.1%

※収支不足額は、損益勘定留保資金、減債積立金などで補填しました。

◆一般会計の決算

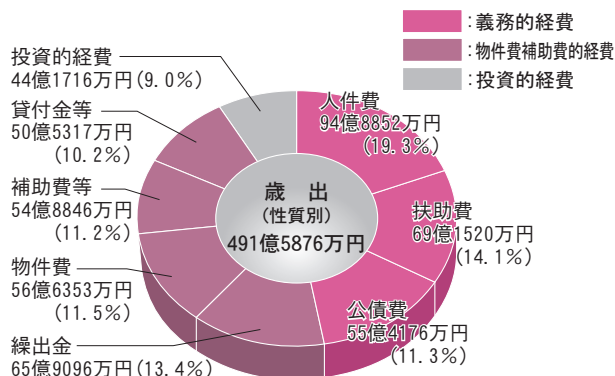


- 地方交付税は、法人市民税収入の補填などにより前年度比75.3%の大幅増加
- 国庫支出金は、定額給付金や臨時交付金により前年度比99.0%の大幅増加
- 市債は、普通交付税を補填する臨時財政対策債の発行により増加



- 総務費は、定額給付金事業などにより前年度比41.2%の大幅増加
- 非常勤職員の任用改善に伴い、非常勤職員給与を物件費の賃金から人件費の報酬へ振り替えたため、人件費が6.8%の増加、物件費が11.0%の減少
- 扶助費は、自立支援給付や生活保護費などにより5.9%の増加

◆一般会計の性質別決算



◆市民の負担状況

市民負担状況	市税負担額	行政経費		
		一般会計	特別会計	合計
市民1人当たり	15万9419円	31万2970円	21万8209円	53万1179円
1世帯当たり	40万9999円	80万4906円	56万1197円	136万6103円

※人 □：14万3958人
世帯数：5万5975世帯

（平成21年4月1日現在）

※市民の負担状況の算定には、市税を充当していない市債借換債、公社貸付を除いています。



◆21年度の主な事業概要

《総務費》

- みんなで協働のまちづくりシンポジウム、地区別ワークショップ、NPOセミナーの開催
- 防犯ステーションまちばん荒川沖の開設
- 神立駅周辺への防犯カメラ設置
- デジタル同報系防災行政無線施設の整備
- 土砂災害ハザードマップの作成
- 土浦市住宅公社の解散



防犯ステーションまちばん荒川沖

《民生費》

- 土浦市障害者計画の策定
- つちうら新こどもプランの策定
- のりあいタクシー利用者への年会費一部助成
- 重度障害者や一人暮らし老人などを対象にした住宅用火災警報器の設置

《衛生費》



電気自動車

- Hibワクチン接種費用の助成
- 妊婦健康診査の公費負担回数の拡充
- 廃蛍光管の排出体制の整備
- 電気自動車の導入
- 地球温暖化防止行動計画の策定

《農林水産業費》

- バイオマスタウン構想の策定
- 新治地区都市と農村の交流事業推進協議会の設立
- 中村西根市民農園の開設
- 新治地区の農道整備工事
- 手野・坂田地区のほ場整備

《商工費》

- プレミアム付き商品券の発行補助
- 緊急雇用対策による雇用促進
- まちづくり活性化バス「キラちゃん」の運行支援
- まちなか元気市の開催
- まちなか賑わいパラソル・彩り事業などの展開



まちなか元気市

- カレーフェスティバルの開催、オリジナルカレーの普及、新名物料理の創出
- 観光パンフレット(歳時記)の作成
- 観光戦略推進会議の開催
- 小町の里整備基本構想の策定
- 全国花火競技大会の開催



《土木費》

- 道路の拡幅改良、舗装工事および交通安全施設工事
- 新町橋人道橋の橋梁工事、橋梁の点検調査
- 都市下水路、小規模排水路の整備
- バリアフリー特定事業計画の策定
- 障害者対応エレベーターの整備(土浦駅西口)



JR常磐線3駅の発車メロディのオリジナル化

- JR常磐線3駅の発車メロディのオリジナル化
- 穴塚大岩田線の一部4車線化
- 朝日トンネル取付道路の整備
- 公園遊具の安全点検調査に基づく遊具の一斉更新・改修

《消防費》

- 消防ポンプ車、高規格救急車の更新
- 公共施設(22か所)へのAED配備
- 救命講習の実施

《教育費》

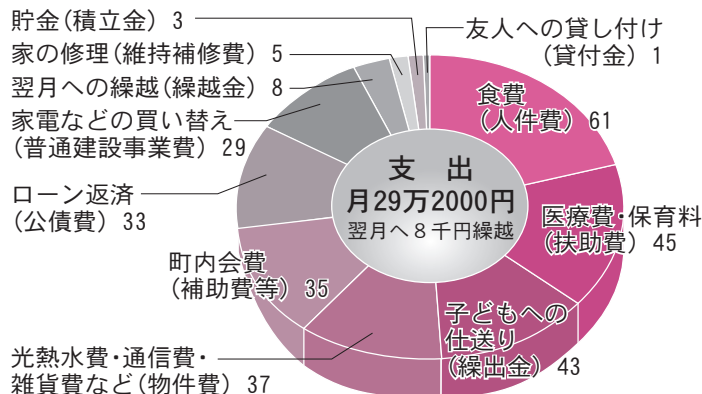
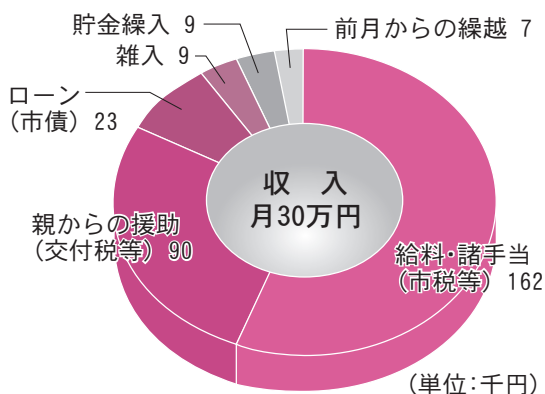
- 小・中学校への外国語指導助手(ALT)配置
- スクールガードリーダー(警察官OBなど)による防犯パトロールの実施
- 中学1年生を対象とした宿泊体験学習の実施
- 小学校の体育館・校舎などの耐震補強工事、大規模改造設計の実施
- いくぶん幼稚園の園庭芝生化
- 児童クラブ室の新築・改修
- かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会の開催



かすみがうらマラソン

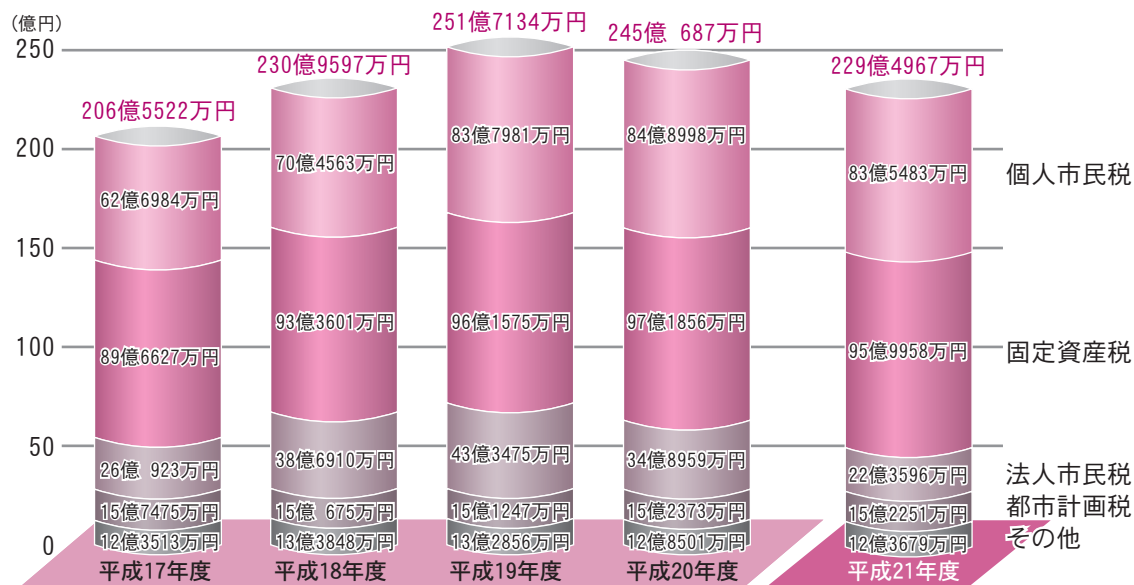
兼国際盲人マラソンかすみがうら大会

◆土浦市の1年間の歳入を月30万円の収入がある家計に例えると…



※市の年間決算額を一月の家計におきかえてみましたが、単純比較は困難ですので、あくまでも目安としてください。
※借換債、公社貸付については、収入・支出から除いています。

◆市税収入の推移



※世界同時不況の影響などによる企業業績の悪化で法人市民税の落ち込みが大きく、前年度比12億5363万円、35.9%の大幅な減となっており、市税総額では、個人市民税の落ち込みなどもあり、15億5720万円、6.4%の減となっています。

◆市有財産の状況

区 分	22年3月31日現在	22年9月30日現在	増 減
土 地	370万5834.28㎡	370万8135.28㎡	2301.00㎡
建 物	43万8612.31㎡	43万8612.31㎡	—
山 林	2万5890.00㎡	2万5890.00㎡	—
車 両	337台	334台	▲3台
有 価 証 券	1146万円	1146万円	—
出 資 に よ る 権 利	4億3663万円	4億3663万円	—
基 金			
財 政 調 整 基 金	48億8941万円	48億9309万円	368万円
市 債 管 理 基 金	12億7381万円	12億7504万円	123万円
定 額 運 用 基 金	24億8454万円	24億8665万円	211万円
その他の特定目的基金	64億5779万円	67億2291万円	2億6512万円
債 権	2413万円	2413万円	—

※平成21年度には、財政調整基金を2億円活用したほか、公社対策基金により、住宅公社を解散しました。



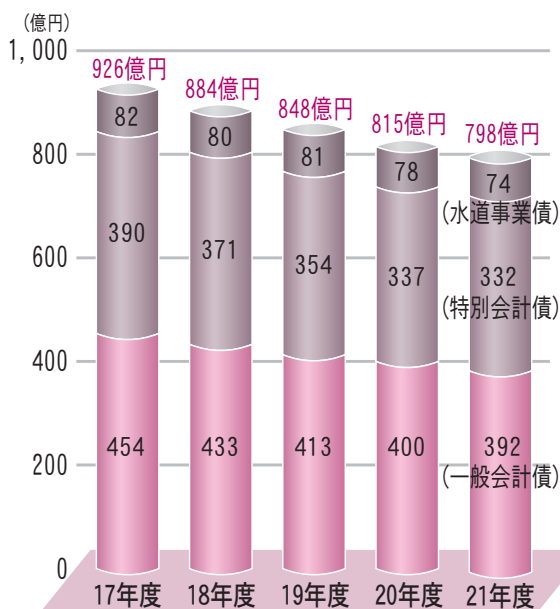
◆市債の状況

会 計 名	平成21年度末	22年9月30日現在	増 減
一 般 会 計	391億6221万円	378億2897万円	▲13億3324万円
特 別 会 計			
公共用地先行取得事業	34億2870万円	32億3040万円	▲1億9830万円
駐 車 場 事 業	14億0506万円	13億2432万円	▲8074万円
下 水 道 事 業	279億4691万円	270億3267万円	▲9億1424万円
公設地方卸売市場事業	(平成21年度で公債費の償還が終了)		
農業集落排水事業	4億2471万円	4億1807万円	▲664万円
土浦駅前北地区市街地再開発事業	4320万円	4320万円	—
企業会計(水道事業)	74億2667万円	71億4621万円	▲2億8046万円
計	798億3746万円	770億2384万円	▲28億1362万円

平成21年度全会計の公債費は、110億8135万円で、前年比22.3%の減ですが、借換債分を除くと3.0%の減となります。13億5790万円の高金利の公的資金を繰上償還し、低利の銀行等資金に借り換えを行うことにより、2億6108万円の公債費を軽減するなど、市債の縮減に努め、将来への負担軽減を図りました。

その結果、年度末市債残高は前年度比16億8909万円(2.1%)減少しています。市民1人当たりの年度末市債残高は、55万4589円です。

◆市債現在高の推移(年度末)



◆財政健全化判断比率等

いずれの指標も、国が定める財政の早期健全化や再生を図る基準を下回っており、健全段階となっています。

区 分	土浦市	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率			
実質赤字比率	—	11.90%	20%
連結実質赤字比率	—	16.90%	40%
実質公債費比率	12.1%	25%	35%
将来負担比率	48.5%	350%	
資金不足比率	各会計とも—	経営健全化基準20%	

※「—」は、赤字、資金不足が生じていないため、該当がないことを表しています。

実質赤字比率…一般会計等の実質的赤字の標準財政規模に対する割合

連結実質赤字比率…特別会計を含む市の全会計の実質的赤字の標準財政規模に対する割合

実質公債費比率…一般会計などの公債費(借入金の返済額)に、特別会計の公債費を充てるための繰出金などを加えた実質的な公債費の標準財政規模に対する割合

将来負担比率…一般会計等の実質的な将来負担額(一般会計等の借入金残高、特別会計の借入金残高のうちの一般会計負担見込み、市の全職員が退職すると仮定した場合の退職手当負担見込み、土地開発公社などの関係団体への一般会計負担見込みなど)の標準財政規模に対する割合

資金不足比率…市の公営企業において生じている赤字(資金不足)の事業規模に対する割合。市では、下水道事業特別会計など5つの会計が対象となります。

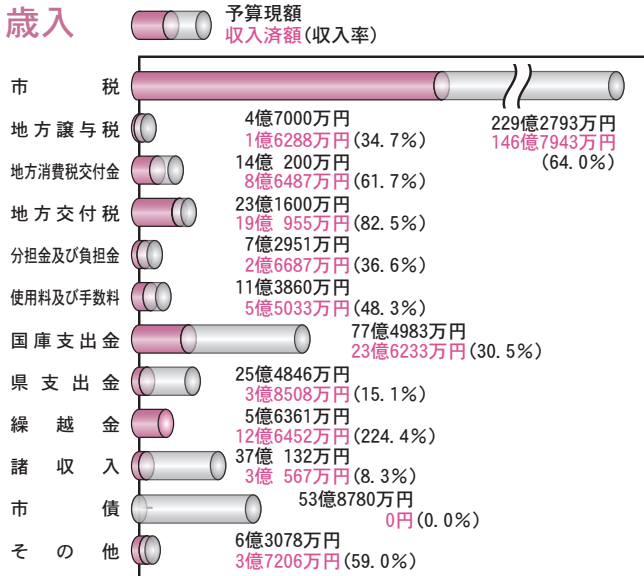
※標準財政規模とは、地方公共団体の標準的な一般財源を示すもので、市では、280.2億円(平成21年度)です。

◆平成22年度上半期執行状況(平成22年9月30日現在)

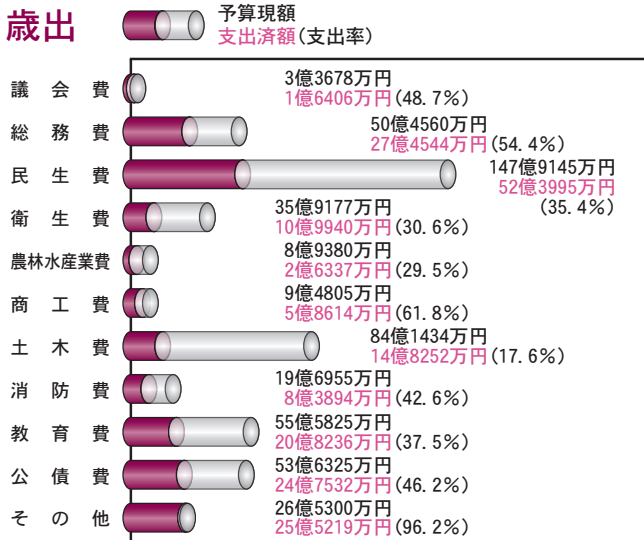
◎一般会計予算現額：495億6584万円

- 収入済額：231億2359万円(収入率 46.7%)
- 支出済額：195億2969万円(支出率 39.4%)

歳入



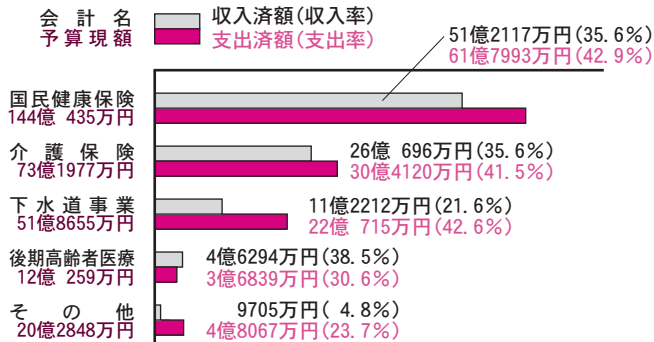
歳出



【解説】市債は、事業完了後に借り入れるため、現時点では未収入です。歳出についても、特別会計の決算状況をみて出納整理期間(平成23年4月～5月)に繰り出し処理をするため、民生費や土木費の支出率が低くなっています。

◎特別会計予算現額：301億4174万円

- 収入済額：94億1024万円(収入率 31.2%)
- 支出済額：122億7734万円(支出率 40.7%)



※その他の会計…公共用地先行取得事業、駐車場事業、老人保健、公設地方卸売市場事業、農業集落排水事業、土浦駅前北地区市街地再開発事業

【解説】支出が収入を上回っていますが、これは一般会計からの繰り入れや、市債の借り入れが現時点では処理されていないためです。

●水道事業会計

区 分	予算現額	収入・支出済額	執行率
収益的収支	収入	35億7868万円	15億1087万円 42.2%
	支出	32億8787万円	10億4253万円 31.7%
資本的収支	収入	3億3415万円	3044万円 9.1%
	支出	14億6708万円	3億5736万円 24.4%

◎収益的収支…事業の管理・運営に関する収入および支出(消費税込み)

◎資本的収支…施設の建設・改良などに関する収入および支出(消費税込み)

※資本的収入の支出に対する不足額は、損益勘定留保資金などで補填します。